

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人 広島県臨床検査技師会

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>(ケイタイサイト <http://mw.hiroringi.or.jp/>)

新年のご挨拶

一般社団法人 広島県臨床検査技師会 会長 丹下 富士男



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方にはご家族共々輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は執行部役員ならびに会員の皆様と

共に取り組んで参りました会務、予定された事業も着実に執行出来ておりますことに対しまして心より御礼申し上げます。

特に11月に開催した「変革の時、原点を見つめて未来へ」一匠の伝承を掲げての日本臨床衛生検査技師会中四国支部医学検査学会(第46回)を広臨技会員の『お・も・て・な・し』の心で、「広島じゃけん」と胸を張って言える盛会裡の学会として終えることができました。

これも単に広臨技会員の結束力と組織力、そして多くの賛助会員、関係各位の皆様方のご支援とご協力の賜物と思い、改めまして心より感謝申し上げます。

この学会を通して、臨床検査技師が輝き、そして医療の質の向上に繋がり、未来に向かって進む原動力となったものと信じております。

さて昨年を見渡して見ますと、デフレ経済を克服するため大胆な金融緩和を措置するという振れ込みでのアベノミクスや、2020年夏季オリンピックが東京へ招致が決まったり、富士山が世界遺産登録されたりと明るい話題もあり経済的には少し上向き傾向には感じられるものの庶民までにはその恩恵は薄いように思われ、相変わらず東日本大震災の復興、原

発問題、基地問題、TPP、そして異常気象や自然災害と国民の生活を悩ますことが未だ解決まで至っていないのが現状のように思います。

そう言った中で『午年』の新年がスタートしましたが、今年は診療報酬改訂があり、また消費税率もアップするという環境の中、臨床検査技師として一連の業務は勿論ですが、今以上に臨床現場で活躍ができるかがポイントとなり、新たなチーム医療への参画が望まれます。

例えば、日臨技が進めている検体採取の業務認証による業務拡大を図り臨床現場に出向いたり、臨床検査技師として患者さんに向けた検査説明を行い医師や看護師の業務軽減を進めることで患者サービスにおける質的向上を図ったり、POCTを駆使して在宅医療における検査を行ったりと、未だ可能性のある分野はあると思われまじ、地域医療に貢献するためにも臨床検査の標準化と共有化にも力を注がなければなりません。

そう言ったことを会員の皆様と一緒に実行していくことが職能団体としての使命であると思ひ、地域医療を支え、県民の期待と信頼に応えられるように日々研鑽を惜しまず努力して県民の健康増進に寄与して参りたいと思ひます。

皆様方には今年も変わらぬご支援、ご協力を賜りたくお願いを申し上げますと共に、皆様方とご家族にとりまして良い年でありますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年も宜しく願いいたします。





平成 25 年度日臨技中四国支部医学検査学会（第 46 回）は、去る 11 月 9 日（土）、10 日（日）の両日、広島国際会議場を舞台に開催されました。「変革のとき、原点を見つめて未来へ -匠の伝承-」をテーマに、参加者 1,817 名（正会員 1,329 名、法人賛助会員 391 名、学生 79 名、関連団体等 18 名）と 200 余名の実務委員を擁して開催された今学会は、みなさまのご協力により、好評のうちに無事終了しました。“企画で勝負”をスローガンに広臨技会員が一丸となってスタートした学会準備では、斬新な企画が次々と生まれ、今までとは少し趣を異にした学会になったのではと思っています。

一般演題は最終的には 195 題の登録がありました。過去最高の登録数を記録した昨年の岡山学会直後の開催ということもあり、出足が心配されましたが、登録数が増えるに従い、当初の“不安”は、限られた会場でいかにプログラムに組み込むかという“うれしい悩み”へと変わっていったのでした。

一般市民にも聴講の門戸を開いた市民公開講座では、茶道上田宗箇流家元 上田宗罔先生をお招きし、「日本人の美意識と武将茶人」と題してご講演を頂戴しました。日本人のゆたかな美的感受性のもと、武将茶人としての上田宗箇独特の茶の湯の世界がいかに形づくられ伝えられてきたかを、宗箇がいくさのさなかに作った茶杓などを題材にお話しされ、臨床検査に携わるわれわれにも相通ずるものを感じたご講演であったと思います。教育講演 1 では、大阪大学特任研究員 津田秀年先生に「再生医療はどこまで進んでいるか？ -臓器再生と細胞治療-」と題し

て再生医療における iPS 細胞の基礎、将来展望、臨床検査への応用などについてご講演をいただきました。教育講演 2 では、広島大学教授 田中純子先生に「ウイルス肝炎の疫学と対策最前線」と題して、疫学的エビデンスをもとにこれからの肝炎・肝癌対策のあり方をわかりやすく解説いただきました。教育講演 3 では、山陽女子短期大学名誉教授 安松弘光先生に「チャレンジ！ 臨床検査技師としてアメリカ留学を体験して」と題し、先生のご体験をもとにチャレンジ精神と国際協力の重要性についてご講演をいただき、特に若い技師には大いに参考になったことと思います。タイトな講演スケジュールでしたが、変化に富む内容で会員のみなさまには十分ご堪能いただけたことと確信しています。また、シンポジウム 8 題、パネルディスカッション 1 題、生理検査教育セミナーおよびエコーハンズオンセミナーそれぞれ 1 題は、広臨技が誇る精鋭学術部により企画されたもので、学会テーマにマッチした洗練された内容であったと思います。企業各社の協力により開催されたランチョンセミナー 12 題は、いずれも臨床検査各分野での最新の話題を取りあげていただき、自分が参加するセミナーの選択に迷われた会員も多かったのではないのでしょうか。日臨技企画として開催された「日臨技データ標準化・精度保証セミナー」へも多くの参加がみられ、データ標準化事業と精度保証施設認証への関心の高さが伺えました。

31 社から出展をいただいた機器・試薬展示は、展示会場が分科会々場に併設されていたこともあり、会場あふれんばかりの参加をみることができました。特に、展示企業 17 社のご協力により開催された“スイーツセミナー”は、当初の想定をはるかに上回る集客効果をもたらし、2 日間で 1,100 余名の参加をいただきました。会員はもとより、昨今の厳しい状況の中、多大なご支援をいただいた展示各社のみなさまには満足いただけたものと思っています。

学会 1 日目終了後に開催された懇親会には 300 名超の参加をいただきました。アトラクションでは広島県の検査技師 1 年生による若さみなぎるダンスや、

呉地区の会員仲間で結成されたバンドによる円熟味のある生演奏が披露され、若人を中心に躍動する広臨技の近未来を十分に感じ取っていただけたことと思います。

岡山学会に続き、広臨技企画として実施された“高校生のための職業紹介ー臨床検査技師ってこんなに面白いー”では、展示会場に山陽女子短期大学、広島国際大学の案内ブースを設け、併せて職場見学ツアーを用意しました。参加 76 名とこれも想定外の結果となり、臨床検査技師という職業がリクルートラインナップの中に大きく根付きつつあることを実感できた企画でした。お忙しい中、職場見学にご協力いただきました中国電力株式会社中電病院のみなさまに感謝いたします。

広臨技移植検査部門により企画された“日本赤十字社中四国ブロック血液センター見学ツアー”では、39 名の参加がありました。短時間ではありましたが、完成したばかりの中国四国の拠点となる血液センターを見学できたことは、極めて意義のある企画であったと思っています。快くご協力をいただきました血液センターのみなさまに感謝いたします。

以上、自画自賛の総括になりましたが、今学会に参加された多くの方に「素晴らしい学会でした」とのお言葉をいただきました。広臨技会員、中四国支部会員をはじめ、展示、広告、会場ボランティアにご協力をいただきました賛助会員、学生のみなさまに改めて深謝いたします。

学会報告 <市民講座、教育講演>

学会第 1 日目の午後、市民公開講座と教育講演が 3 題行われました。

市民公開講座では、茶道上田宗箇流家元の上田宗岡氏を招いて、今回の学会のサブテーマ匠の伝承ーにちなみ「日本人の美意識と武将茶人」についてご講演いただきました。

上田宗箇流は茶道流派のひとつで、芸州浅野家の家老であった上田家に伝わる武家茶道の一流です。手前が独特で、特にふくさを右腰につけ、男性は左手の建水とは別に、柄杓を右手で運び出すと聞いています。講演では数々の茶道具が紹介され、それらにまつわるお話を聞くことができました。特に武勇であった宗箇が、戦の最中に一心不乱に削った茶杓の美しさに魅せられました。室町時代において、「一番槍」にこだわり戦乱を生き延びた宗箇をはじめ武家茶人には、死と向きあう極限の緊張感が常に根底にあったのだと感じました。

今回の講演では、市民の方が 37 名参加されました。講演後お一人の方にお話をお聞きしました。その方は上田宗箇流のお茶を嗜む方で、「何度か聞いた内容ではあるが、場所が違えばまた心に響くものがあります」と言われていました。

教育講演 1 では、再生医療はどこまで進んでいるか？ー臓器再生と細胞治療ーについて大阪大学の津田秀年先生にお話しいただきました。山中伸弥教授がノーベル賞を受賞されて以来、iPS 細胞が脚光を浴び、再生医療はますます進歩を遂げています。幹細



胞を用いた先生の色々な疾患への応用研究について詳しくお話をうかがうことができました。

教育講演 2 は、広島大学の田中純子先生に「ウイルス肝炎の疫学と対策最前線」と題してわが国における肝炎・肝癌対策のありかたについてご講演いただきました。

教育講演 3 では、山陽女子短期大学の安松弘光先生に「チャレンジ！臨床検査技師としてアメリカ留学を体験して」をお話しいただきました。安松先生は 29 歳の時に単身アメリカに渡られ、その当時のスライドも交えながら特に若い技師さんへのメッセージ、どんなことにも興味をもってほしい、と熱く語られていました。

どの講演も私にとっては、現在の自分の足元をみ



つめなおすよい機会となるものでした。ただ、会場が広く、さらに 2 階席を有していて、そちらには多くの方が座られていましたが、講師の先生方の最前方に空席が目立ったことが残念でした。さらに講演後の会場外で、講演会場がわかりにくかったという他県の方のご意見をいただきました。会場内、外での誘導、整理に課題がみられました。

(佐藤 恵子)

■□■学会参加者数■□■

会員 1,329 名

学生 79 名

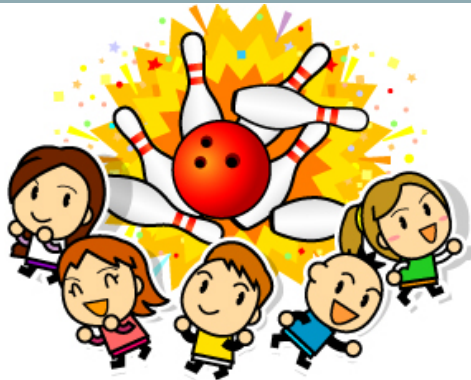
非会員 409 名

(賛助会員、関連団体、非会員、展示等の要因含む)

合計 1,817 名

呉地区レクリエーション ボウリング大会を終えて

呉地区委員 森實 夏子 (済生会呉病院)



11 月 29 日、呉マリنبowlにて呉地区恒例のボウリング大会を開催し、会員、賛助会員、子供を合わせて 50 名の参加で盛大に行われました。親睦を深めるため各レーンには同施設のメンバーが重ならないようにチーム編成をしました。ゲームをはじめる前に、呉マリنبowlのスタッフからボウリングの簡単なレクチャーがあり、軽食のハンバーガー、ポテトを頬張りながら皆さん熱心に聞いていました。5 分間の練習後、中国労災病院の上林技師長の始球式で始まりました。各レーンではガーターやターキーありで、歓声やハイタッチで盛り上がり 2 ゲームを終えました。表彰式は個人賞、団体賞、飛び賞、ブービー賞を、また、特別賞として開催日が 11 月 29 日 (いい肉) の語呂合わせで松坂牛を準備しました。2 ゲームの得点の差が最も少ない方を特別賞としまし

た。個人優勝は済生会広島病院の岩下さんで、下位を大きく引き離しダントツの優勝でした。入賞された皆さん、おめでとうございます。また、参加された皆さん、お疲れ様でした。各表彰は下記の通りです。(HDCP:女性と子供は 10 点/1 G)

□■□個人賞□■□

優勝 岩下 知弘 技師 (済生会広島病院)

382(1 G:201 2G:181)

準優勝 田中 美帆 技師 (呉医療センター)

312(1 G:172 2G:140)

3 位 有谿 俊一 技師 (済生会呉病院)

298(1 G:130 2G:168)

ブービー賞 井爪 温子技師 (済生会広島病院)

?(1 G:?? 2G:?)

特別賞 名越 咲技師 (呉医療センター)

1 G-2G= 1

団体賞 呉市医師会病院臨床検査センター



第 31 回広島県医学検査学会のお知らせ（第 7 報）

テーマ：「医療そして予防医学における臨床検査」

～いつ検診受けるん？今じゃろ！！～

■開催日：3月8日（土）～9日（日）

■場所：常翔学園広島国際大学 東広島キャンパス



プログラム

【3月8日（土）】

13：00～13：30 受付

13：30～15：00 連絡責任者会議

講師：中安 一幸（厚生労働省政策統括官付情報政策担当参事官室 室長補佐）

15：10～17：40 シンポジウム

「体験者が伝える乳がん&乳がん医療に携わる私たち」 ～それぞれの視点から見えるもの・学ぶもの～

1. 「医師の立場から」 角舎 学行先生（広島大学病院乳腺外科）
2. 「看護師の立場から」 浅野 早苗先生（本永病院）
3. 「放射線技師の立場から」 新藤 陽子技師（独立行政法人国立病院機構東広島医療センター放射線技師）
4. 「臨床検査技師（超音波検査）の立場から」

上田 信恵技師（独立行政法人国立病院機構広島西医療センター検査技師）

5. 「臨床検査技師（病理・細胞診検査）の立場から」 尾田 三世 技師（広島大学病院）

6. 「乳がんを体験して」 中津留 雄美 先生

18：00～20：00 懇親会

【3月9日（日）】

9：00～9：30 受付

9：30～12：00 一般演題

12：10～13：10 ランチョンセミナー2題

①ペプシノゲン Hピロリ抗体「胃の健康度 ABC 分類の有用性」

栄研化学株式会社 マーケティング推進室 足川 達也 先生

②演題未定

香川医療生活共同組合 高松平和病院 外科部長 何森 亜由美 先生

13：20～13：25 表彰式

13：25～14：25 教育講演『お酒のサイエンス ～酒都・西条でお酒を楽しむ～』

講師 伊豆 英恵（独立行政法人 酒類総合研究所）

14：30～14：45 臨床検査プロモーションタイム

14：45～15：45 市民公開講座 『食の安全安心と健康管理 ～健康食品を上手に利用するために～』

講師 斎藤 邦明（京都大学大学院）

15：45～15：50 閉会

【機器・試薬展示について】

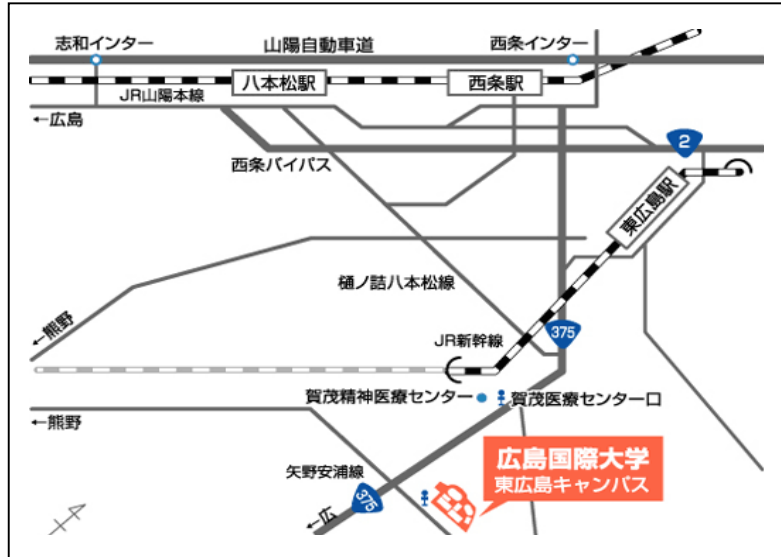
- ・3月9日（日）9：00～15：30 学会場において機器試薬の展示を行います。

【昼食について】

- ・ランチョンセミナーでは、お弁当（無料）を200名分準備しております。
当日朝、総合受付で先着順に弁当引換券をお渡します。

【会場周辺案内図】

- ・会場には、無料駐車場をご用意しております。駐車案内に従ってご利用ください。
- ・学会期間中であれば、24時間のご利用も可能です。
- ・西条駅・呉駅から無料バスを用意していますので、ご利用ください。（詳細は次号に掲載予定）
- ・周辺には宿泊施設は無く、宿泊は西条駅周辺となります。



【第31回広島医学検査学会 懇親会申込みについて】

懇親会参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailでお申込みください。

— 記 —

- 日時 : 平成25年3月8日(土) 18時～
 会場 : 広島国際大学 東広島キャンパス 2号館 8階
 会費 : 5,000円 (学会受付時に徴収いたします)
 申込締切 : 平成25年2月21日(金)
 参加申込先 : FAX 082-420-8271 Mail kensa@hmh.or.jp
 問合せ先 : 東広島記念病院 福田 河村 高橋まで TEL (082-423-6661)

第31回広島県医学検査学会 懇親会参加申込書

(参加施設名 : _____)

会員番号	氏名

研修会、イベント案内

第4回一般検査研修会のお知らせ (認定一般技師資格更新指定研修会)

■日時：平成26年1月18日(土)

10:00~16:00 (9:30受付開始)

※事前申し込みは必要ありません。認定一般検査技師資格をお持ちの方は、当日受付時にお名前と認定番号を申し出て下さい。研修会終了時に指定研修会参加証明書を発行いたします。

■会場：広島市民病院 10F 講堂

(広島市中区基町7-33)

■内容：

講演1 はじめてみませんか体腔液検査

河野 雄一 技師 済生会呉病院

講演2 尿定性検査の基礎知識とアルブミン・

クレアチニン試験紙について

栄研化学株式会社

講演3 尿沈渣検査の再確認！

～有用な症例・成分を見逃さない～

石澤 毅士 技師 岩手医科大学付属病院

講演4 尿中赤血球から考える病態

横山 貴 技師 東京女子医科大学病院

共催：栄研化学株式会社

■問合せ先：呉共済病院 検査部 佐々木 彩

TEL 0823-22-2111 (内線 4303)

安佐地区 輸血談話会

■日時：平成26年1月23日(木) 18:30~19:30

■場所：広島市立安佐市民病院 3階講堂

■内容

1. 血液型検査の基礎 (マニュアルを読もう)

2. 情報交換会

■問合せ先：広島市立安佐市民病院

吉森 雅弘 TEL (082)815-5211

■お願い

日本輸血・細胞治療学会ホームページより

ホーム》ガイドラインなど》マニュアル

「輸血のための検査マニュアル Ver. 1.2」を印刷

して持参して下さい。

移植検査部門 輸血検査研修会

■日時：平成26年2月1日(土) 15:00~17:30

■場所：県立広島病院新病棟(中央棟2階) 講堂

■内容：こんな時どうする？

1. 血液型が判定できない

広島赤十字・原爆病院 浦 安美 技師

2. 適合血が見つからない

呉共済病院 宗本 聖 技師

3. 在庫の赤血球製剤が足りなくなった

広島大学病院 河野真由 技師

■問合せ先：広島市立安佐市民病院

吉森雅弘 TEL (082)815-5211

血液研修会のお知らせ

■日時：平成26年2月15日(土) 14:00~18:00

■場所：広島大学医学部基礎講義棟2階形態実習室

■内容：

講義1「骨髄の見方について(仮)」

尾道市立市民病院 巻幡 信広 技師

講義2「フローサイトメトリーの見方について(仮)」

広島赤十字・原爆病院 塔村 亜貴 技師

講義3「スライドカンファレンス～(仮)」

呉共済病院 中川 浩美 技師

・鏡検実習

・症例解説 広島市立広島市民病院 河野浩善 技師

広島市立安佐市民病院 中島 静 技師

■問合せ先：広島市立安佐市民病院 臨床検査部

中島 静 TEL (082) 815-5211

平成25年度広島県合同輸血療法研修会

■日時：平成26年2月15日(土) 15:00~18:00

■場所：国保会館6階大会議室

■内容：「輸血療法に関するアンケート」結果報告

「訪問相談応需事業について」

■特別講演：全医療人で達成する良質な輸血医療

福島県立医科大学医学部長・副学長

輸血・移植免疫学教授 大戸 斉 先生

※詳細、案内資料は下記URLをご確認ください。

<http://www.hiroringi.or.jp/>

平成 25 年度第 33 回広島県臨床検査精度管理向上研修会の案内

■日時：平成 26 年 2 月 23 日(日) 14:30～18:00

■場所：広島医師会館 2 階大講堂

■内容：第 41 回（平成 25 年度）精度管理調査結果の評価・解説および特別講演

※詳細は次号（2 月号）にてご案内致します。

東京都がん検診センター細胞検査士養成所第 36 期生募集について

東京都がん検診センターでは、臨床検査技師を対象として子宮・肺・胃・乳腺等各科の細胞診検査ができる高度な知識および技術の習得を目的とした細胞検査士養成所を開設し、受講生を募集しています。

1. 募集人数：12 名程度
2. 受講期間および開講日時：平成 26 年 4 月 1 日(火)から 10 月 31 日(金曜)までの 7 ヶ月間
月曜日～金曜日（午前 9 時から午後 5 時）
3. 受講場所：公益財団法人 東京都保健医療公社 東京都がん検診センター
4. ご案内：詳細は下記 URL を確認してください。

<http://www.tokyo-cdc.jp/iryoukankei/yousei/index.html>



求人のご案内（平成 25 年 12 月 16 日現在）

No.	受付日	施設名	雇用形態	雇用期間	募集業務内容	その他・勤務時間等
245	11 月 13 日	BML 広島	正社員	随時	検体検査業務	検体検査の経験有の方 シフト制
243	9 月 13 日	FML 広島支所	正社員	9 月～	細胞診検査補助	細胞検査士取得を目指す 勤務時間 7:30～16:30
242	9 月 3 日	マツダ病院	パート	随時	採血、生理検査全般（主に超音波）	勤務時間 8:15～15:00 （要相談）
241	9 月 3 日	吉島病院	パート	随時	臨床検査業務全般	勤務時間 8:30～16:15、 土曜 8:30～12:30
240	8 月 9 日	武市クリニック	正社員 パート	随時	甲状腺検査	9:00～18:00
237	6 月 20 日	安佐市民病院	臨時職員	7 月 1 日～	検査業務	8:30～17:15
236	6 月 20 日	津谷内科呼吸器科 クリニック	正社員	随時	睡眠脳波、CPAP 管理、エコーなど	8:30～18:30（隔週） 19:00～22:00 要相談



広報部あて専用 E-Mail < koho@hiroringi.or.jp >

速報原稿の送付、広報部へのご意見等をお願いします。

モバイル端末からのメール送信も可能です。

※次号速報の原稿〆切りは、1 月 10 日です。